

『防災きにゃんプロジェクト』の概要について

三重県立紀南高等学校

本校では、令和4年1月、宮城県で行われた三重県学校防災ボランティア事業（三重県教育委員会主催）に参加した生徒をリーダーとして、「震災で悲しみを抱える人をつくらない地域」を目指した取組『防災きにゃんプロジェクト』を進めています。

きっかけは、生徒たちが訪問した石巻市立門脇小学校で、「震災直後、在校中の児童全員が裏山に避難し無事だった」というお話を伺ったことでした。門脇小学校で目にした「一目で分かる津波防災のピクトグラム」が大変印象に残り、紀南高校近くを調査しました。そこで民家の石塀などに貼られた「目立たない案内表示」に課題があると考え、「御浜町にも大きなピクトグラムを設置したい！」という思いを強くしました。

御浜町役場総務課防災係の方に相談すると、多額の設置費用がかかることが判明し、それなら、自分たちで御浜町に少しでも寄付をしようと考えました。

昨年度、本校では「太平洋岸自転車道 PR」のためのクリームサンドを糸川屋製菓さんと共同開発。また本校のスローガン「しんじろ！ちから」をプリントした「きなんTシャツ」も作成し、熊野エリア道の駅協議会の皆さんの協力を得て販売した実績があります。

この時販売ボランティアをしてくれた生徒から、「売上金は寄付をしたい」という意見が多かったため、今までの売上金をこの『防災きにゃんプロジェクト』の実現に活かすことになりました。

その後、宮城県に派遣された生徒である防災リーダー4人が中心となり、今後の展開を考えました。

令和4年10月には、熊野エリア道の駅協議会の皆さんと防災リーダーによる企画会議が行われ、様々な意見を出し合いました。そこで、地元の人たちにも広く防災について啓発するため、「非常持ち出し袋」100セットを販売し、売上金を寄付する計画へと発展。中に入れる物品については寄贈を呼び掛けて、多くの人たちに応援してもらって販売することを決定しました。

現在、日本土木工業株式会社様、ユウテック株式会社様、大和緑化株式会社様はじめ、多くの事業所の方から物品協賛をいただいています。

令和5年の年明けから、協賛物品をいただいた皆さんや本校からのメッセージを載せたパンフレットを作成し、マスコットキャラクターの「きにゃん」と「避難」をかけて『ひにゃんグッズ』と銘打って販売する予定です。皆さまからいただいた善意を紀南地域の防災意識向上に役立てるため、防災リーダーたちは販売に向けての準備を進めています。

このホームページをご覧いただいている皆様におかれましても、販売が開始されましたらお買い上げに御協力いただけると幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

◆詳しい内容は、このQRコードでご覧ください。

